

神経内科 2017 年診療実績

■ 神経内科受診の統計

初診外来患者数	1,266 人/年
再診外来患者数	1,904 人/年
入院ベッド数	22 床
新規入院患者数	547 人/年
平均在院日数	16.9 日

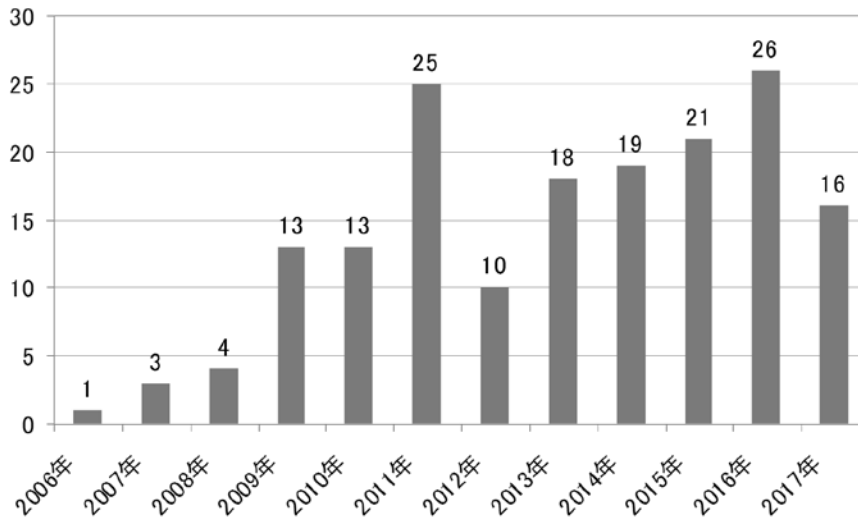
■ 診療実績(2015 年～2017 年)

疾患別入院患者(ICD10準拠)	2015	2016	2017
脳血管障害(脳梗塞 一過性脳虚血発作 脳出血 脊髄血管障害 静脈洞血栓症 クモ膜下出血)	190	152	145
多発性硬化症 視神経脊髄炎	27	20	27
パーキンソン病	32	24	22
パーキンソン症候群	8	22	12
多系統萎縮症	9	10	7
進行性核上性麻痺	19	19	19
慢性炎症性脱髄性多発神経炎 多巣性運動ニューロパチー	79	57	61
ギラン・バレー症候群(ミラー・フィッシャー症候群 Bickerstaff脳幹脳炎も含む)	33	17	20
脳炎(ウイルス性、自己免疫性、傍腫瘍性、辺縁系) 脳髄膜炎(ADEMも含む)	39	30	66
多発ニューロパチー	27	22	36
内科疾患による神経・筋障害	9	28	22
てんかん	22	28	43
重症筋無力症	14	17	17
運動ニューロン疾患(ALSなど)	14	11	5

疾患別入院患者(ICD10準拠)	2015	2016	2017
脊椎疾患	5	12	12
脊髄小脳変性症	8	8	4
精神疾患	8	8	4
ミオパチー (筋炎、筋ジストロフィー)	13	13	16
代謝性脳症(ウエルニッケ脳症、脳アミロイド血管症、薬剤性も含む)	10	10	15
腫瘍性疾患(原発性脳腫瘍、髄膜癌腫症)	1	1	4
不随意運動(ミオクローヌス、ジストニア、振戦など)	1	1	4
認知症(アルツハイマー病、正常圧水頭症)	1	3	7
非感染性炎症性疾患(神経サルコイドーシス、神経ベーチェット病、神経スイート病)	5	8	5
神経梅毒、クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0
機能的疾患(片頭痛、脳脊髄液減少症など)	2	3	2
その他	25	18	2
合計	597	543	562

■ 超急性期脳梗塞に対するt-PA 静注療法の概要(2005年11月～2017年12月)

(1) 症例数 167 例 平均年齢:71.7 歳 男性 100 例 女性 67 例

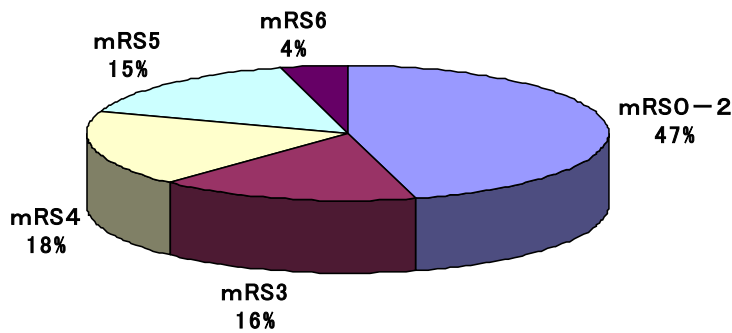


(2) t-PA 療法患者の脳梗塞病型

アテローム血栓性梗塞:73 例 心原性脳塞栓症:94 例

(3) 機能予後(modified Rankin Scale で3ヵ月後の評価)

mRS 0-2: 77 例(47%) 3:27 例 4:31 例 5:26 例 6:7 例



(4) 脳梗塞入院患者に対するt-PA 療法患者の割合(2011～2017)

2011年:11.2% 2012年:5.1% 2013年:11.6%

2014年:9.5% 2015年:11.1% 2016年:17%

2017年:11%

(5) 機械的血栓回収術施行例:16 例(9.5%)

2013年:1例 2014年:0例 2015年:4例 2016年:6例 2017年:5例

治療成績:mRS 0-2:5例(31%) 3:4例 4:4例 5:3例

6:0例

■ 全死亡例及びその死因

病名	死因(剖検)
心原性脳塞栓症 肺炎	心原性脳塞栓症
細菌性髄膜炎	細菌性髄膜炎
視神経脊髄炎 ネフローゼ症候群 2型糖尿病	多臓器不全
パーキンソン病 肺炎	肺炎
心原性脳塞栓症 心不全 肺炎	心原性脳塞栓症
意識障害 肺炎	肺炎
心原性脳塞栓症 心房細動	心原性脳塞栓症
心原性脳塞栓症 関節リウマチ 慢性腎臓病	心原性脳塞栓症
てんかん重積 心不全 心房細動 脳梗塞	心原性脳塞栓症
心原性脳塞栓症 心房細動 早期胃癌 消化管出血	出血性ショック
心原性脳塞栓症 心房細動	心原性脳塞栓症
心原性脳塞栓症 心房細動 高血圧症 慢性腎臓病	心原性脳塞栓症
心原性脳塞栓症 心房細動 高血圧症	心原性脳塞栓症

■ 検査(2015年～2017年)

検査	2015	2016	2017
神経伝達検査	374	453	1,110
誘発電位	120	108	72
脳波検査	439	526	450
針筋電図	63	68	52
頭部CT	1,133	1,335	1,302
頭部MRI/MRA	1,472	1,131	1,136
SPECT/PET	290	401	450
頸動脈エコー	193	75	159
筋生検	3	0	4
脳・神経生検	1	2	4